



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

第20回JABA毎日新聞社杯社会人選抜野球大会

◇◇試合結果◇◇

1回戦 VS T F Uクラブ (13対4) 勝利
2回戦 VS 東北マークス (2対6) 敗戦

1回戦		2回戦		3回戦	
エフコムBC	13	TFUクラブ	4	エフコムBC	3
TFUクラブ	4	東北マークス	6	東北マークス	10
東北マークス	6	エフコムBC	3	エフコムBC	3
エフコムBC	3	東北マークス	6	東北マークス	10
東北マークス	6	エフコムBC	3	エフコムBC	3
エフコムBC	3	東北マークス	6	東北マークス	10
東北マークス	6	エフコムBC	3	エフコムBC	3
エフコムBC	3	東北マークス	6	東北マークス	10
東北マークス	6	エフコムBC	3	エフコムBC	3

エフコム八百板 飛馬 外野手、主将の松嶋 拓郎 内野手より本大会のコメントをいただきました！



八百板 飛馬 外野手

今大会は惜しくも敗戦となりましたが、選手一人ひとりが最後まで諦めず、全力で戦い抜きました。また、これまでチームを支えてきた9名の選手が今大会をもって引退となります。これまでの努力とチームへの貢献に、心より感謝します。引退する選手たちの想いを引き継ぎ、新体制ではさらなる成長を目指し、次の大会での優勝に向けてチーム一丸となって取り組んでまいります。今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。



松嶋 拓郎 内野手（主将）

最後の県内大会、応援ありがとうございました。
結果としては優勝することができず、悔しい思いが残りました。全国大会での敗戦から今大会に至るまで、改めて野球の難しさを痛感しています。
ただ、まだ一つ大会が残っているので、次こそは必ず優勝を掴み取ります。引き続き熱い応援をよろしくお願いいたします。





野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

一回戦 V S T F Uクラブ

第50回 J A B A 毎日新聞社杯初戦の舞台は県営あづま球場。

初戦のエフコム B C の先発は爽やかイケメン佐野。相手は宮城県の T F U クラブ。試合は初回から動く。1 番茨木が相手のエラーで出塁すると 2 番伊藤（琉）の犠牲フライで先制。4 番伊藤（海）、8 番岩崎が長打を重ねて打者一巡以上の攻撃を続け、一挙 8 点を奪います。2 回には、7 番大河内、8 番岩崎のヒットで 1 点を加え、序盤のうちに 9 - 0 と大きくリードしました。先発の佐野は先制点をもらい、勢いのあるピッチングを披露。3 回・4 回は T F U クラブの継投の前に無得点でしたが、それでも 5 回に 1 点、6 回には途中出場の大平、佐藤（敬）の連続ヒットが生まれ 2 点を追加。7 回にも 1 点と得点を重ね、最後まで攻撃の手をゆるめませんでした。

投手陣は、先発佐野に代わり 2 番手照井、3 番手嵯峨が登板するが失点を許してしまいます。4 番手の長根は 2 回を無失点に抑え流れを渡さないピッチングを披露しました。その後も 5 番手須藤、6 番手小口と要所を締めるピッチングで 1 3 - 4 と投打のかみ合ったナイスゲームで準決勝進出を決めました。

岩崎 凛太郎 選手
内野手/出身校
安達高等学校 ⇒ 東北公益文化大学



嵯峨 恭平 選手
投手/出身校
東海大山形高等学校 ⇒ 東北公益文科大学



長根 尚輝 選手
投手/出身校
花巻東高等学校 ⇒ 東北公益文科大学



照井 壮瑠 選手
投手/出身校
福島北高等学校



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

二回戦 V S 東北マークス

準決勝の相手は宮城県の東北マークス。エフコムBCの先発は高身長右腕の山上。

試合は初回から動きます。東北マークスの2番打者に四球を与えると4番打者にタイムリーを打たれ先制されてしまいます。その後は、後続を抑え最少失点にとどめます。エフコム打線は、相手投手をなかなか攻略することが出来ません。打線の援護が欲しい山上ですが、2回、3回と危なげないピッチングを披露し打線の援護を待ちます。打線は3回先頭の岩崎が四球で出塁すると1番茨木がレフトへタイムリーを放ち同点に。4回からは2番手小川がマウンドに上がり相手打線を寄せ付けぬ完璧なピッチングを披露します。5回は味方のエラーと四球で一死1塁2塁のピンチを招きますが次の打者を抑え二死1塁2塁の状況となった場面で3番手須藤がマウンドに上がります。しかし流れを切ることが出来ずライトにタイムリーを放たれ1-2と勝ち越されてしまいますが4番手佐野が後続を抑えます。

試合は7回先頭打者が2塁打で出塁すると代打八百板(卓)が打席へ。ライトへ3塁打を放ち土壇場で2-2の振り出しに戻します。しかし後続が続かず追加点が奪えません。8回からは延長タイブレークで試合が始まります。マウンドには5番手山形。味方のエラーとホームランが絡み2-6と追加点を許してしまいます。最終回のエフコムBCの攻撃は3番からの好打順でしたが、得点することが出来ず2-6で県内最後の大会は悔しい準決勝敗退となりました。

山上 遼真 選手
投手/出身校
弘前学院聖愛高等学校 ⇒ 仙台大学

小川 佳斗 選手
投手/出身校
八戸学院光星高等学校 ⇒ 八戸学院大学



八百板 卓丸選手
外野手/出身校
聖光学院高等学校

茨木 響也 選手
内野手/出身校
学法石川高等学校 ⇒ 八戸学院大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。